

KOA F-150Cのボイスコイル、振動版、ダンパ、エッジを交換改造し低域特性の向上を目指した。

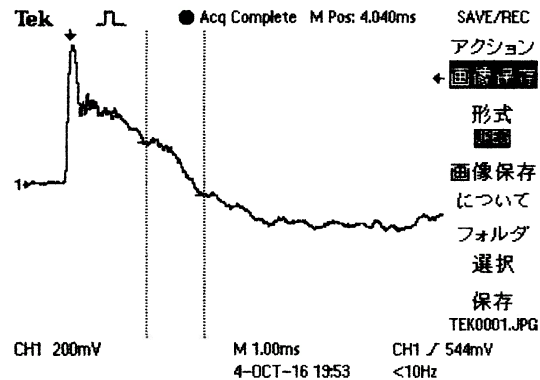
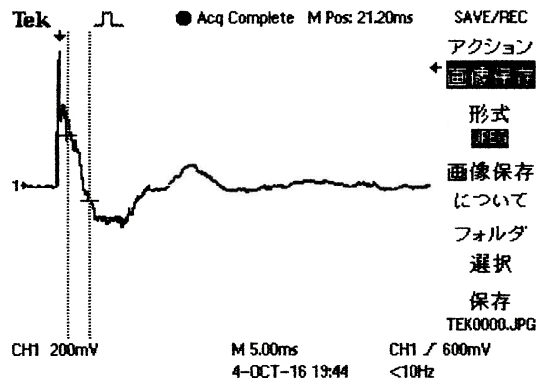
仕様

箱容積:3.5L SPサイズ: $\phi 120\text{mm}$ 、コーン材質:紙0.8mmカーボン0.2mmの張り合わせ、コーンサイズ:85mm、ボイスコイル長:16mm、有効振
詳細は <http://blogs.yahoo.co.jp/jmkttttkmj/folder/1060605.html>

ステップ応答特性

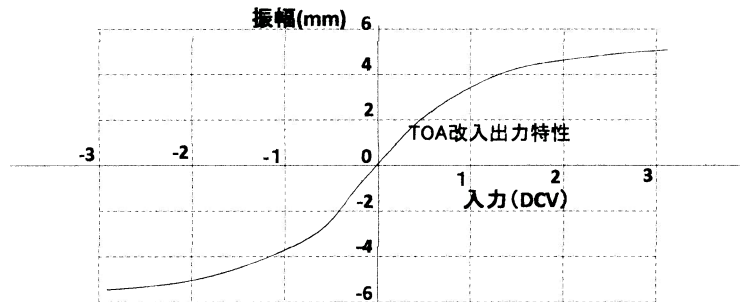
約60Hzの低域振動収束が20msで少し長い、もっと強力な磁気回路でダンブしないと短くならない。現状でもパルスレフの半分以下で収束してい、
約4kHzの分割振動と思われる波形は約0.3ms位の短時間で収束している。(通常のスピーカーは数ms要す)

少しギザギザが多い(周辺ノイズの影響かも)



振幅特性

オフセットは少なく精度良く組み立てられた、有効振幅は $\pm 5\text{mm}$



WFの周波数特性

- ・全体には広帯域で比較的フラット
- ・130Hzの共振原因は未調査
- ・800Hz付近の共振は箱の内部共振?
- ・4kHzの大きなディップはカーボン振動版の分割振動?
- ・1.2kHz以上からの凸凹はコーン裏側の紙の分割振動?

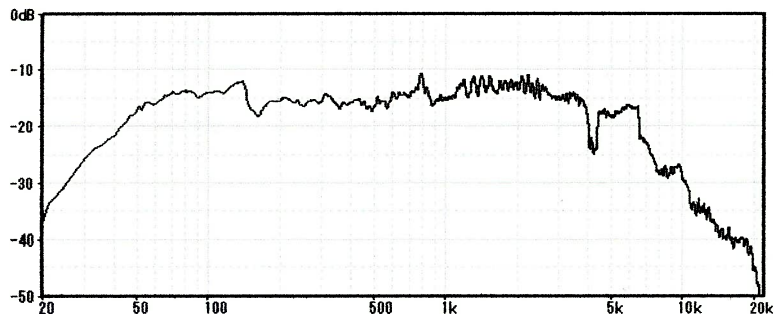
WF 周波数特性 (30cm)

Subtitle

Method: サインスイープ:F特測定

Date: 18/10/15

Time: 09:15:18



歪特性

- ・60Hzで振幅±0.5mm位での特性、ほとんどの領域で1%以下
- ・自作マイクアンプのDレンジ不足と周辺雑音の影響で正確な測定不可、マイク改造要す
- ・別途測定した結果では60Hz/±2.5mm相当の入力時、80Hz以上で0.3%ほど。

WF 歪特性 (40cm300mVpp)

Subtitle

Method: サインスイープ:高周波歪み測定

Date: 18/10/15

Time: 09:51:54

